

《 I F T A シンガポール大会にて 》

T & C フィナンシャルリサーチ
日本株情報部 マネージャー
東野 幸利

IFTA 大会への参加は 2 年ぶりとなりました。過去の開催地のなかでも比較的日本に近いシンガポールだったことや、NTAA の補助金制度があったことが参加を決定づける要因となりました。

大会期間は 10 月 11 日 (木) ~ 13 日 (土) の 3 日間。大会前日の朝にチャンギ国際空港に到着後、宿泊する **Fragrance Hotel** に荷物を預け、写真撮影などを中心に半日だけ観光に時間を費やしました。大会が開催されるマンダリン・ホテルやビジネス街などを中心に散策し、シンガポールの象徴的な存在であるマーライオンや歴史博物館などにも足を延ばしました。シンガポールの町を歩いていると、中華系やマレー系、インド系など多人数の地域であることや、若い人が多いことに気づきます。私が宿泊したホテルは夜の歓楽街の中心で昼間の雰囲気も決して良い場所ではなかったのですが、4 日間を何のトラブルもなく無事過ごすことができました。

今回の大会で特徴的だったのは、参加者全体に占める日本人比率が高かったことです。シンガポール現地に拠点をおく日本人を含めると総勢 23 名 (スピーカーの林さんや新見さん含め) の参加となりました。近場で参加しやすかったこともありますが、IFTA 関係者をはじめ海外のアナリストに対して日本の存在感をアピールできたのではないかと感じております。参加人数だけを持って NTAA のプレゼンスを高めることに違和感のある方もいると思いますが、2010 年ベルリン大会の 5 人、2011 年ボスニア大会の 4 人などと比べると格段の違いで、NTAA にとっては結果的に成功した大会であったといえるでしょう。

大会期間中の進行スタイルがこれまでと大きく変わりましたし、年々、参加者全体の年齢層が若くなっていくような気がします。マンダリン・ホテルの最寄り駅から 4 駅ほど離れた場所に宿泊したため遅刻もしましたが、25 人のスピーカーによる 15 の講演やパネルディスカッションに対する満足度は高かったです。

一方、近年で特に発達した売買の「高速化や自動化」などに関する論文やテーマが意外に少なかったように思いました。グローバルで進む売買の「高速化や自動化」という時流を認めながらも、セッション全体では古典的分析手法の延長線に過ぎないような手法が今もなお主流とみえる状況は、国内外ともに同じであると感じました。

大会 1 日目、恒例の “WALK ABOUT” のあとは、アナリストによるプレゼンが始まりました。林則行さんがプレゼンされた「ローソク足のボラティリティ」では、“ボラティリティ・ブレイクアウト” といった聞き入りやすい言葉を使い、単純明快な内容で参加者からの評価はスピーカーのなかでトップクラスだったと聞いております。ボリンジャー氏

の「指標の作成」では、ボリンジャー・バンドにモメンタム指標を取り入れ、モメンタムピークとプライスピークとの関連性を分析・検証した内容で、新しいシグナル開発へのヒントにもなりました。

大会 2 日目、新見明弘さんの「業績を伸ばすことがすべてではない」は大変興味深い内容でありましたし、トレバー・ニール氏の「センチメント・ローソク足—新しいトレード技法」では、欧米人と日本人とのローソク足に対する考え方の違いを感じとることができました。今回の大会から新しく取り入れられた 6 人のスピーカーによるパワーアワーでは、当協会の国際部長であり IFTA 理事でもある本間晶さんがスピーカーの 1 人として講演され、笑いなども交えた内容で参加者からの評価は高かったようです。そのほか、スダルシヤン・スカニ氏による「短期トレンド・フォローイングの新メソッド」やグレッグ・タン氏による「新ミレニアムに向けての愉快的テクニカルアプローチ」なども、欧米系にはない繊細な分析で興味を抱かせる内容でありました。

3 日間でいろんな国のアナリストによるプレゼンが行われましたが、今回の大会では日本人のために同時通訳が用意されていたこともあって、大方の内容が理解できたことは有意義でした。英語が不得意な私にとってのこれまでの大会は、記憶に残るプレゼンは精々 2 つあるかないかのレベル。海外のテクニカルアナリストとお互いに乾杯し合うことはあっても、それ以上に発展することはないといっても過言ではありません。現在もそれに近い状況に変わりないですが、プレゼン内容が理解できることでレベル感を自分なりに認識できることや、テクニカル分析に対する自分の考え方を再考する機会となります。

全体を通じては新しい分析手法というよりも、各種マーケットに対するアプローチの仕方や既存のテクニカル指標に対する外国人の着眼点・考え方が参考になりました。また、毎回思うのがプレゼン能力の重要性。優れた分析内容でもプレゼン能力次第で伝わり方が違います。

日本人の分析力がより勝るといった見方は、今回の大会でも再認識いたしました。NTAA では毎年 IFTA 大会参加への案内を続けていますが、英語ができないからとためらっている方も多いと思います。しかし、劣る英語力を分析内容でカバーすることは十分可能です。

今年の 2013 年大会はサンフランシスコで開催されます。是非機会を作って一度参加してみてください。海外市場の一線で働くプロの前でプレゼンができることは、いうまでもなく一生忘れることがない貴重な経験となります。

最後に、青木理事長はじめ国際部長の本間さん、そしてご支援を頂いた会員の皆様へ。貴重な体験をさせて頂いたことに心から感謝を申し上げます。

以上

2012年IFTA（国際テクニカルアナリスト連盟）シンガポール大会スポンサー企業

Sponsors for IFTA 2012 Singapore



ボリンジャー・キャピタル・マネジメント
P.O. Box 3358
マンハッタン・ビーチ、カリフォルニア 90266、米国
Tel: +1 310-798-8855
Web: www.bollingerbands.com



Bollinger Capital Management
P.O. Box 3358
Manhattan Beach, CA 90266 USA
Tel: +1 310-798-8855
Web: www.bollingerbands.com



ブーケ・ド・フルーレット
E-mail: bd_fleu@mbr.nifty.com
Web: <http://bd-fleurettes.eco.coocan.jp>
メールマガジン(有料): <http://www.mag2.com/m/0001301453.html>
メールマガジン(無料): <http://archive.mag2.com/0001421750/index.html#>
Facebook ページ: <http://www.facebook.com/bd.fleurettes>
Twitter「まぶぼっと」: <http://twitter.com/#!/mabubot>



Bouquet de Fleurettes
Email: bd_fleu@mbr.nifty.com
Web: <http://bd-fleurettes.eco.coocan.jp>
"Mail Magazine" (pay): <http://www.mag2.com/m/0001301453.html>
"Mail Magazine" (free): <http://archive.mag2.com/0001421750/index.html#>
Facebook: <http://www.facebook.com/bd.fleurettes>
Twitter "Mabubott": <http://twitter.com/#!/mabubot>

TS China Research

TS・チャイナ・リサーチ
〒135-0061 東京都江東区豊洲4-9-13-610
Tel: 03-3531-9282
E-mail: tashiobj@china-research.co.jp
Web: <http://china-research.co.jp/>

TS China Research

TS China Research
4-9-13-610 Toyosu, Koto-ku, Tokyo 135-0061, Japan
Tel: 81 3-3531-9282
E-mail: tashiobj@china-research.co.jp
Web: <http://china-research.co.jp/>

IFTA 2012 Conference website 大会情報

<http://conference.ifta.org/2012/>

IFTA 2012 Conference brochure (English) 大会パンフレット

<http://conference.ifta.org/2012/docs/brochure.pdf>

IFTA 2012 Conference brochure (Japanese) 大会パンフレット(日本語)

<http://www.ntaa.or.jp/wp-content/uploads/2012/07/IFTASingaporeBrochureJapanese.pdf>

IFTA website IFTAウェブサイト

<http://www.ifta.org/>

NTAA website NTAAウェブサイト

<http://www.ntaa.or.jp/>

2012年IFTA（国際テクニカルアナリスト連盟）シンガポール大会スポンサー企業

Sponsors for IFTA 2012 Singapore



エフ・エリオット

〒146-0085 東京都大田区久が原1-32-2

Tel: 03-3755-5506

E-mail: f-elliott@f-elliott.com

Web: <http://www.f-elliott.com/>

F-Elliott

1-32-2, Hisagawara, Ota-ku, Tokyo 146-0085, Japan

Tel: 81 3-3755-5506

E-mail: f-elliott@f-elliott.com

Web: <http://www.f-elliott.com/>

IFTA 2012 Conference website 大会情報

<http://conference.ifta.org/2012/>

IFTA 2012 Conference brochure (English) 大会パンフレット

<http://conference.ifta.org/2012/docs/brochure.pdf>

IFTA 2012 Conference brochure (Japanese) 大会パンフレット(日本語)

<http://www.ntaa.or.jp/wp-content/uploads/2012/07/IFTASingaporeBrochureJapanese.pdf>

IFTA website IFTAウェブサイト

<http://www.ifta.org/>

NTAA website NTAAウェブサイト

<http://www.ntaa.or.jp/>